

にぎわい通信

会員だより

令和4年度1月号「にぎわい通信」270号を発行しましたのでご案内いたします。今回は新潟県上越市におけるにぎわいの様子を紹介いたします。

冬の風物詩 直江津港「寒ぶりまつり」3年ぶりに開催！

令和4年12月11日、新潟県上越市にある直江津港佐渡汽船ターミナルにて、直江津港周辺活性化協議会による冬の風物詩「寒ぶりまつり」が開催されました。

この催しは、小木直江津航路が運休する冬の期間の直江津港を盛り上げるために毎年行われてきました。今回は、日本海の冬の味覚「寒ぶり」のほか、「直江津」を丸ごと楽しんでもらう狙いで規模を拡大して開催されました。

恒例のぶりの解体ショーは、今回初めて県立海洋高校の生徒が担当。約9kgもある丸々と太った佐渡産寒ぶりの説明を交えながら手際よく3枚に下ろしていく様子は迫力があり、大勢の観客から拍手と歓声が起こりました。会場では、ぶりの刺身パックやぶりカツ丼が販売され、脂ののった寒ぶりを味わおうと大勢の人が列を作りました。

また、あんこうの吊るし切りショーも披露され、あんこう汁も販売されました。

今回の「寒ぶりまつり」は、新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となりましたが、県内外から開催を待ちわびていた皆さんが来場され大変にぎわいました。

【公式 寒ぶりまつり】のInstagramはこちら↓
<https://www.instagram.com/kanburimatsuri/>

新潟県
上越市



寒ぶりまつり チラシ



ぶりの解体ショー



あんこうの吊し切りショー



ぶりの刺身パック